

別所線エコチケ

長野県上田市での

公共交通サブスクを目指した取り組み



NPO法人上田市民エネルギー
一般社団法人自然エネルギー共同設置推進機構(NECO)

上田市民エネルギーおよびNECOの活動は 「自然エネルギー(相乗りくん)」「学校断熱」「まちづくり」の3本柱

「相乗りくん」からはじまった取組みが「断熱」に「まちづくり」に発展
地域を動かし、気候変動対策の原動力に



つながって増やす
自然エネルギー

環境大臣賞
地域コミュニティ部門賞

JPEA2025年度
ソーラーウィーク大賞



ゼロカーボンの
気運を高める

グッドデザイン賞2025
[ベストデザイン100]
[グッドフォーカス賞]



市民と行政の
垣根を超える

第2回金沢大学宮本賞
[市民活動の部]

「教室断熱ワークショップ」

まちづくり「上田リバーズ会議」

自然エネルギー(温暖化抑制)と交通まちづくりは相性抜群！

- ① 地方都市は**自家用車部門でのCO2排出が大きい**。上田市も同様。
スプロール化を促進し公共交通の利用率悪化➡無駄な資源利用に
- ② 資源利用を抑制しながら市民のニーズを満たすには
「シェアの工夫」がいちばん重要
- ③ 自然エネルギーは“きれいごと”と敬遠されがち。
経済・生活にもメリットがあることを訴求する回路として
「交通まちづくり」はぴったり

まちづくり勉強会の「上田リバーズ会議」で くりかえし**交通まちづくり**を取り上げてきました

上田リバーズ会議
～みんな考える
“持続可能な上田”のつくりかた～

11月11日
19時～19時30分

12月27日
19時～19時30分

参加無料

上田リバーズ会議
～みんな考える
“持続可能な上田”のつくりかた～

11月11日
19時～19時30分

12月27日
19時～19時30分

参加無料

上田リバーズ会議
～みんな考える
“持続可能な上田”のつくりかた～

2023年2月1日
19時～19時30分

2023年3月18日
14時～17時

参加無料

上田リバーズ会議
～みんな考える
“持続可能な上田”のつくりかた～

2023年2月1日
19時～19時30分

2023年3月18日
14時～17時

参加無料

上田リバーズ会議
～みんな考える
“持続可能な上田”のつくりかた～

2023年2月1日
19時～19時30分

2023年3月18日
14時～17時

参加無料

上田リバーズ会議
～みんな考える
“持続可能な上田”のつくりかた～

2023年2月1日
19時～19時30分

2023年3月18日
14時～17時

参加無料

上田リバーズ会議
～みんな考える
“持続可能な上田”のつくりかた～

2023年2月1日
19時～19時30分

2023年3月18日
14時～17時

参加無料

上田リバーズ会議
～みんな考える
“持続可能な上田”のつくりかた～

2023年2月1日
19時～19時30分

2023年3月18日
14時～17時

参加無料

上田リバーズ会議
～みんな考える
“持続可能な上田”のつくりかた～

2023年2月1日
19時～19時30分

2023年3月18日
14時～17時

参加無料

上田リバーズ会議
～みんな考える
“持続可能な上田”のつくりかた～

2023年2月1日
19時～19時30分

2023年3月18日
14時～17時

参加無料

上田リバーズ会議
～みんな考える
“持続可能な上田”のつくりかた～

2023年2月1日
19時～19時30分

2023年3月18日
14時～17時

参加無料

上田リバーズ会議
～みんな考える
“持続可能な上田”のつくりかた～

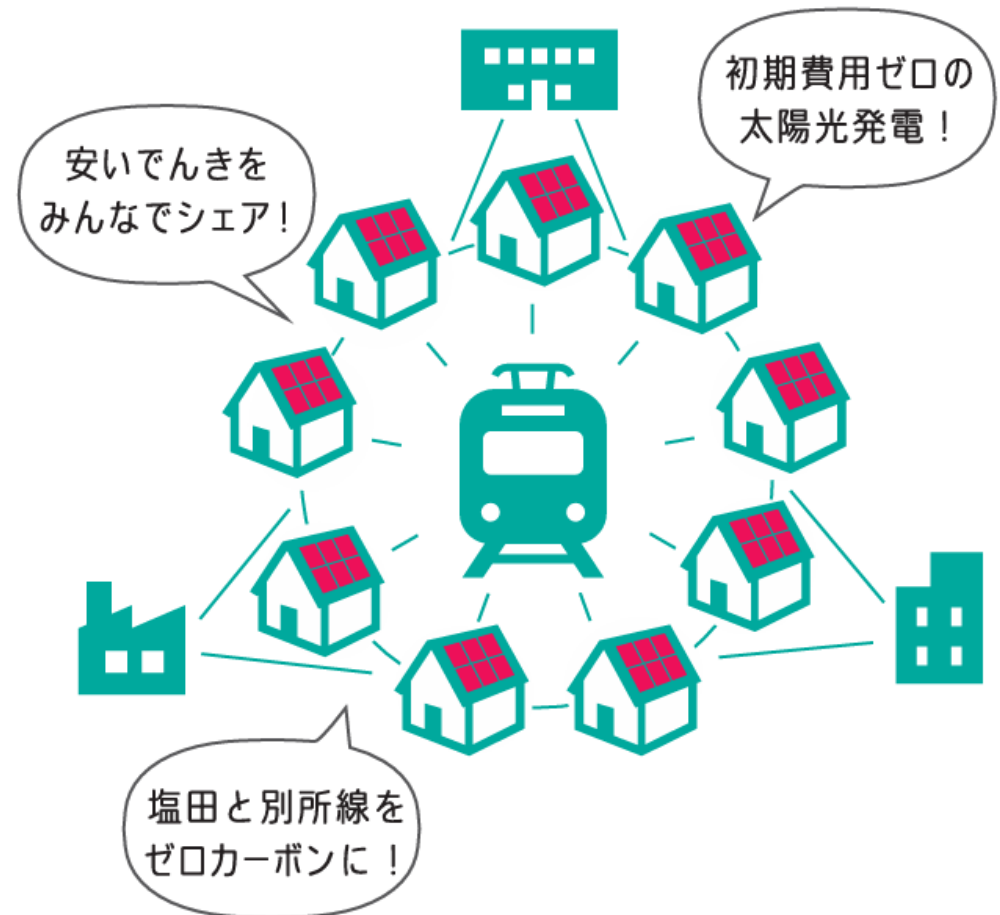
2023年2月1日
19時～19時30分

2023年3月18日
14時～17時

参加無料

環境省「脱炭素先行地域」に選ばれる

リバーズ会議の成果の一つ＝「交通まちづくり」への市民と行政の共感の高まり
\\ ローカル鉄道別所線沿線を舞台にゼロカーボンまちづくり //



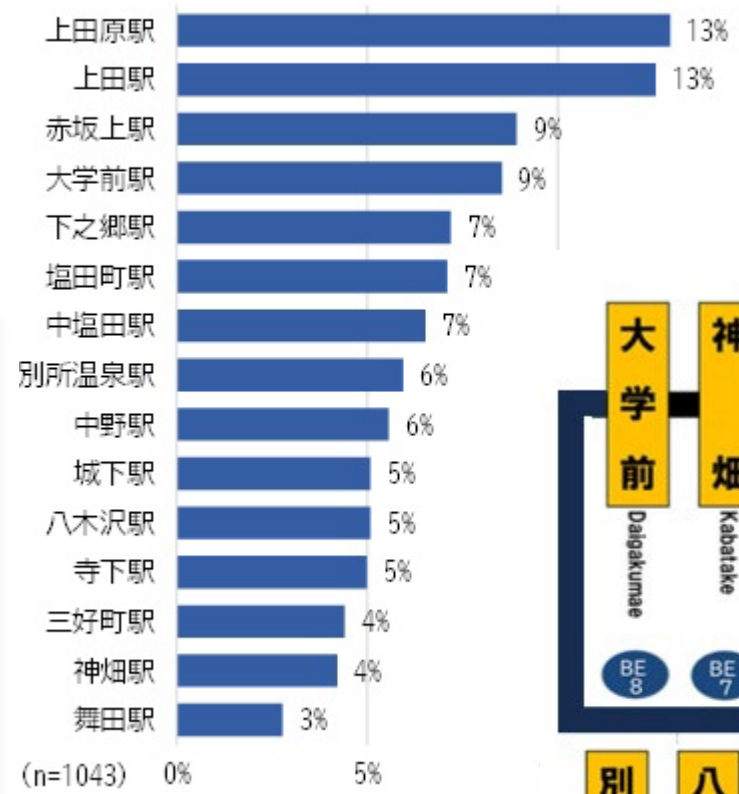
上田電鉄・別所線について



別所線の基本情報

- 全部で **15 駅**
- 上田駅 - 別所温泉駅間は **約 30 分**
- 朝夕平均 **30 分に 1 本**程度のペースで運行
※平日と休日で異なる
- 上田駅 始発 **6時13分** 最終 **23時29分**
- 大人普通乗車券の発売金額は **180円~590円**
- 年間乗客数 **約104万人** ※2023年実績

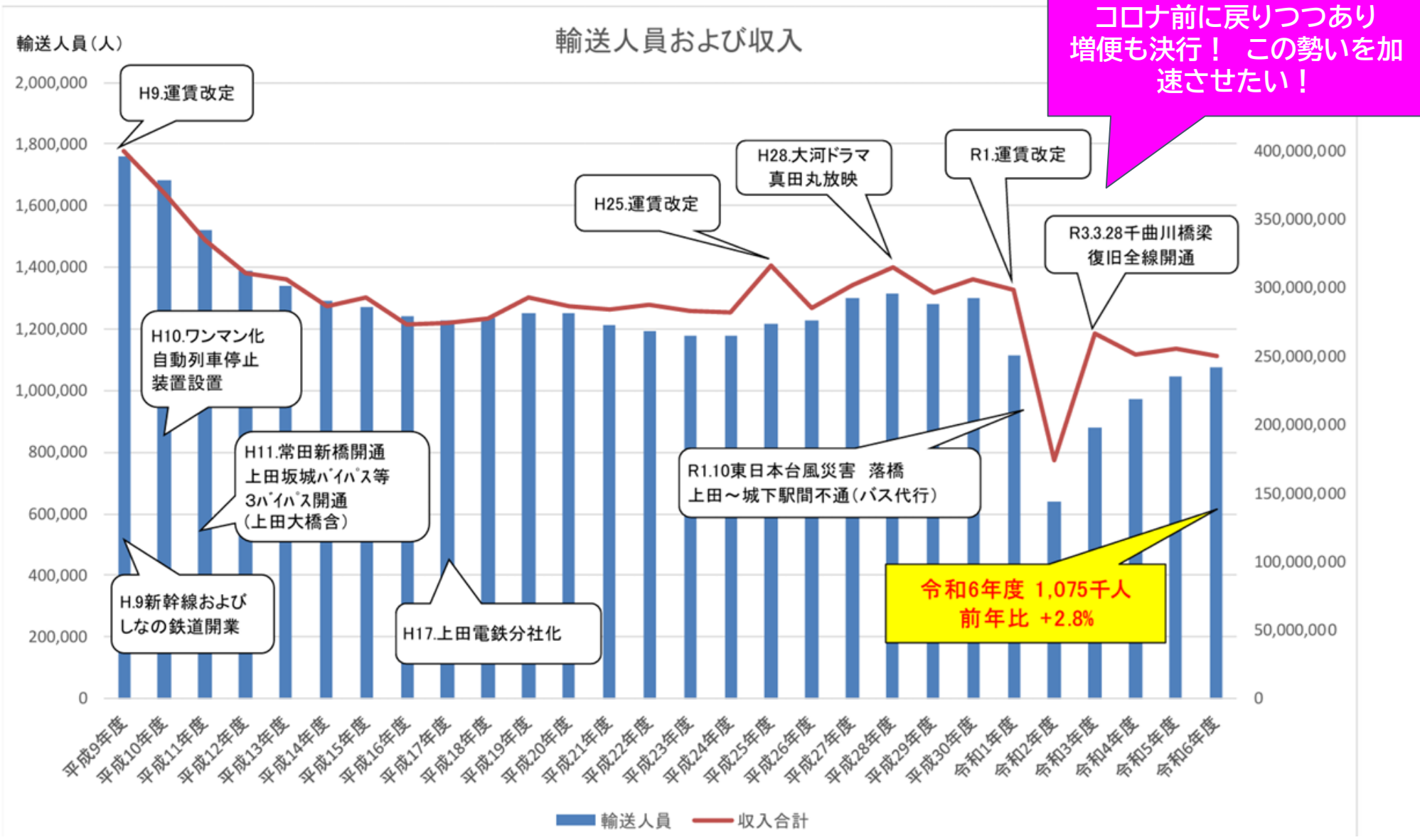
【別所線の最寄り駅】



【別所線路線図】



動くなら今がベストタイミング！



コロナ前に戻りつつあり
増便も決行！ この勢いを加
速させたい！

■ 目的

行動変容

地域への波及効果

外出促進・健康増進・地域活性化

■ 実施概要

●**内容**:別所線のTicketQR回数券5,500円分を1,000円で販売

(上田市民エネルギーが差額の4,000円を上田電鉄に支払う)

●**チケットの形態**:紙・アプリ

●**販売期間**:12月1日(月)~21日(日)

●**販売数**:限定1000枚

●**購入条件**:事前・事後アンケートへの回答。中学生以上(1人1枚)

●**利用期限**:無期限

当プロジェクトは「国土交通省モビリティ人材育成事業」のフィールドスタディとして上田電鉄株式会社の全面協力を得てNPO法人上田市民エネルギーが実施する事業

設計にあたっては鉄道事業者・有識者へヒアリングを実施(以下、一例)

入江聡氏(一般社団法人交通環境整備ネットワーク理事)

上田市の地域公共交通計画資料をもとに

●高校生のポテンシャル

高校生アンケートでは「家族等による送迎(自動車)」が登校時57.6%、下校時54.8%。家族送迎のうち3割(32.9%)が「親が送迎のためだけに往復」。通学時にバスを利用する条件の2番目が「運賃が安くなる」45.5%。

●運転免許返納者のポテンシャル

「将来自主的に返納したい」52.5%。地域公共交通利便増進事業の今後の取組「運転免許証自主返納促進事業の見直し」に適合。TicketQRを活用すれば「運転免許証自主返納促進事業へのQRコード券の導入検討【新規】」にも適合。

太田恒平氏(株)トラフィックブレイン代表

●熊本市の半額パス

- ・登録料2500円(500円はデポジット)で9時以降は毎回半額に。ICカード運用。8000枚売れた
- ・半額の根拠は障害者向け割引の流用
- ・熊本市は渋滞が社会問題化しており渋滞解消目的および外出促進
- ・オフピークは運転士判断で性善説運用
- ・配布者の2割からアンケート戻りあり。事前比較、聞きたいことと答えにくさのズレ、活用などアンケートの難しさ
- ・7000万円かけて渋滞抑制効果は1億円
- ・収支ではなく利用を増やすことに説得力を持たせるためには原単位必要

参考:他の検討案との比較

案	①通勤・通学定期券の特典パス	②高齢者限定(年齢制限あり)	③制限なし
たてつけ	通勤定期券を持っている人の同居家族に、1000円で5,000円分の回数券を付与	ポリウムゾーンの70歳以上を対象に、時間制限なしで乗り放題となるパスを提供	秋の比較的催し物が多い期間と重なる。既存のプリペイド流用。時間制限なしのフルアクセスパス
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ●未利用者層を掘り起こせる ●既存定期券とバッティングしにくい ●特典があることで家族の他メンバーの通勤・通学時間帯の需要掘り起こしに繋がる可能性が ●子どもが定期券を使う中高年も利用可能。対象となる年齢層が幅広い 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の移動支援政策や健康政策と親和性◎。行政補助につながりやすい ●医療費削減・免許返納後支援など、他施策と繋げて政策的に説得力を持たせやすい ●特典(温泉、買い物)と組み合わせ◎ 	<ul style="list-style-type: none"> ●通勤・通学利用も含むので中長期の「定期利用者増」目標と最も合致する ●多様な利用動機・年齢層からデータが取れ、価格・制度設計の基礎資料として優良 ●利用頻度や満足度を幅広く比較できる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ●家族に定期券を持つ人がいないと使えないため、母数が限定される ●特典パスは土日祝の利用が主。平日の利用増に繋がらない可能性が 	<ul style="list-style-type: none"> ●通勤・通学時間帯の利用にはつながりにくく、最終目標とはやや距離がある ●若年層や多様な層への横展開が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ●通勤・通学と無関係の人には、土日祝の利用が主となり平日の利用増に繋がらない可能性がある ●大幅な値引きとなるため、将来の実装時とのギャップが大きくなる
活用可能な主張	<ul style="list-style-type: none"> ●未利用者の需要掘り起こし 	高齢者福祉 + 公共交通維持の“共益型補助制度”モデルとして行政に提案可能	<ul style="list-style-type: none"> ●乗車体験を促し、未利用者の需要掘り起こし ●イベントシーズンに別所線利用を促す観光施策として提案可能
中長期目標との整合性	○直接的	△間接的	◎最も直接的
行政補助へのつなげやすさ	○乗降者数増加のための施策としてはあり	◎健康・免許返納支援と連携	○乗降者数増加のための施策としてはあり
検証できる効果	○行動変容・利用頻度	○行動変容・健康・支出抑制	◎行動変容・利用頻度・価格受容性など多面的
対象層の広さ	○比較的広い	△限定的	◎最も広い

広報

チラシの配布・ポスターの掲出

紙アンケートは上田駅に設置

事前回答

Googleフォーム利用

事前アンケート(フォーム)の回答

事前アンケート(紙)の回答

自動返信メールの提示

紙アンケートの提出

購入

自動返信メールのパスワード入力

TicketQRアプリでチケットを購入

上田駅窓口で紙チケットを購入

利用

ご利用

メールか住所に案内

事後回答

事後アンケートの回答



発売2日で完売！

このプロジェクトは、国土交通省モビリティ人材育成事業のフィールドスタディとして、上田電鉄株式会社の協力を得て、NPO法人上田市民エネルギーが実施する事業です。格安チケットの試験導入によって別所線利用者を増やす研究を目的としています。

販売期間

12/1月 ▶ 21日 3週間 限定!



別所線

5,500円分が

80%超OFF!

1,000円で
乗れるってよ!

今年3月からの平日増便で乗る人が確実に増えている別所線。この勢いを応援するチャンスは今！超お得なチケットを限定販売します。別所線に乗る人が増えたら、どんな未来が見える？みなさんもぜひご参加ください！



先着1000名 利用可能期間：使い切るまで制限なし

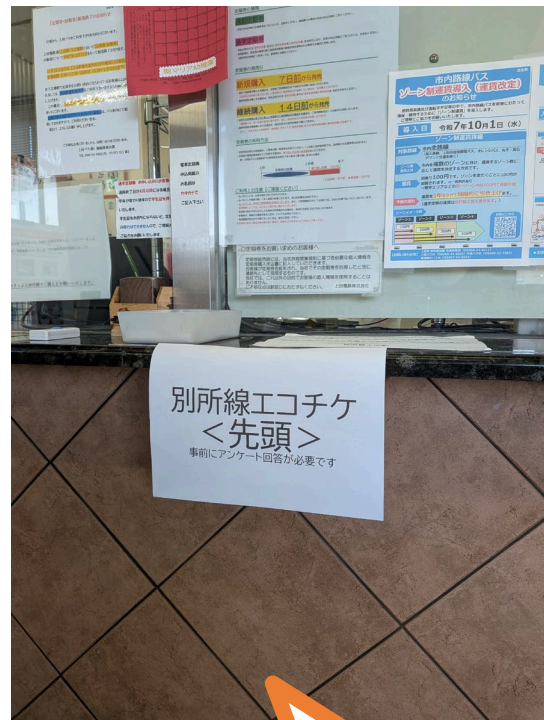
購入条件 事前・事後アンケートに回答できる中学生以上の方、1人1枚まで



購入はこちらのアンケートフォームから

1/19 (月) 前後にメールもしくは郵送にて事後アンケートを送付します。ご協力をお願いします。(郵送は到着まで数日かかります)

限定チケット販売に慣れて
いる上田電鉄さんのは
からいで、アンケート
記入用の長机の設置など、
惜しみないご協力を
いただきました



販売初日12/1
早朝の時点で
フォームに250件
窓口は
7時半のオープン前に
13名の方が行列！

事前アンケートの項目

No	設問
Q1-1	個人属性 年代
Q1-2	個人属性 性別
Q1-3	個人属性 職業
Q1-4	個人属性 居住地
Q1-5	個人属性 別所線最寄り駅
Q2-1	普段の主な移動手段
Q2-2	1日の歩行時間
Q2-3	目的別外出頻度
Q3-1	別所線の利用頻度
Q3-2	別所線利用時の外出目的
Q3-3	別所線を利用する理由
Q3-4	別所線を利用しない理由
Q4-1	プリペイド式チケットの利用状況
Q4-2	「お得なエコチケ」購入理由
Q5	自由回答

生年月日と郵便番号で
個人情報の収集を最低限に抑え
事前・事後アンケートの同一性を担保

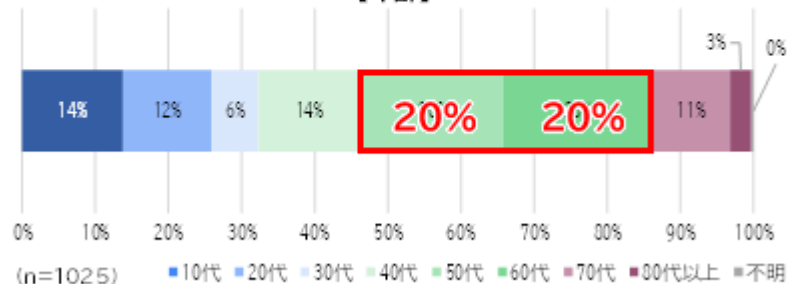
事後アンケートの項目

No	設問
Q1-1	個人属性 年代
Q1-2	個人属性 居住地
Q2-1	「エコチケ」の使用状況
Q2-2	「エコチケ」を使用していない理由
Q2-3	「エコチケ」の良かった点・悪かった点(自由意見)
Q2-4	紙チケットを選んだ理由
Q3-1	別所線の利用頻度
Q3-2	別所線最寄り駅までの移動手段・所要時間
Q3-3	「エコチケ」の目的
Q3-4	別所線に乗った感想／乗る前の印象と異なったことなど(自由意見)
Q4-1	外出回数の変化
Q4-2	「エコチケ」購入後に歩くようになったか
Q4-3	送迎の変化
Q4-4	移動や外出の変化理由・感想
Q5-1	「エコチケ」を使い切った後の別所線利用意向
Q5-2	別所線の改善点(何が変われば別所線をより利用するか)
Q5-3	プリペイドチケット(5,500円分)の購入上限額
Q5-4	地域公共交通共通パスの利用意向
Q6	自由回答

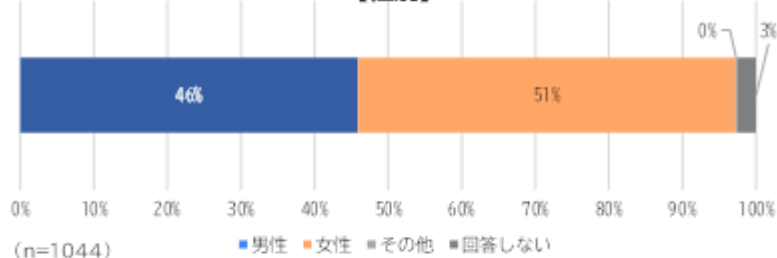
事前アンケートの分析

◇年齢は、「50代」「60代」が20%と最も多い。
 ◇性別は、「男性」「女性」で大きな差はない。
 ◇職業では、「会社員・社員」が28%と最も多く、続いて「学生」が20%。

【年齢】



【性別】

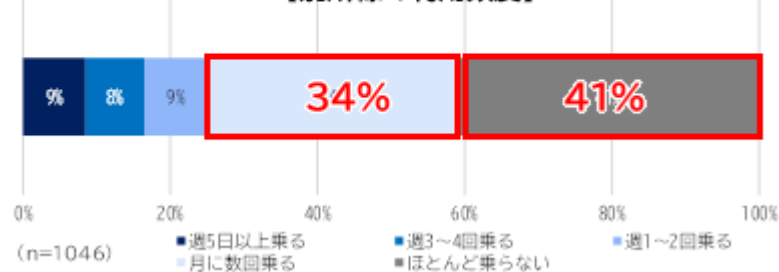


【職業】



◇別所線の利用頻度は、「ほとんど乗らない」が41%と最も多く、続いて「月に数回乗る」が34%。

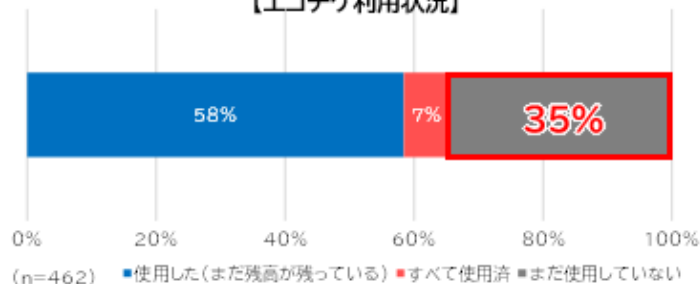
【別所線の利用頻度】



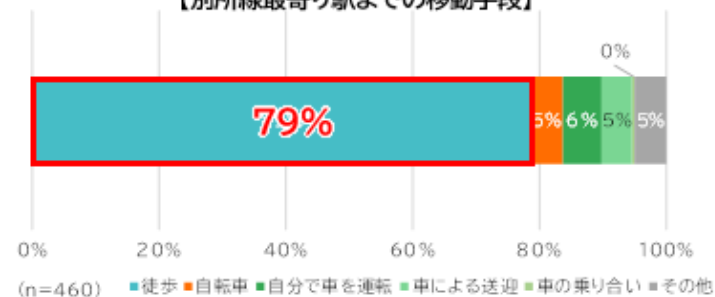
事後アンケートの分析

- ◇エコチケの利用状況では、「まだ使用していない」が35%と多い状況。
- ◇別所線最寄り駅までの移動手段では、「徒歩」が79%を占め、駅から近距離に居住地があると推察される。
- ◇エコチケの利用目的では、「趣味・レジャー」が47%と最も多く、日常利用以外の多様な用途で、別所線の利用が発生。

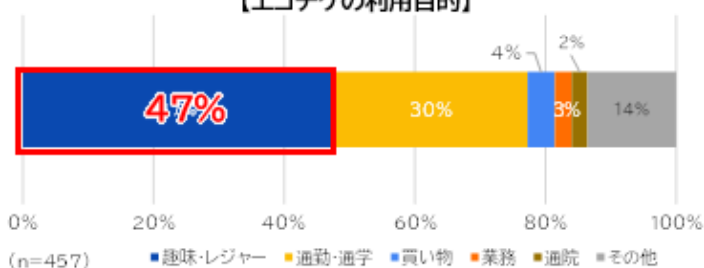
【エコチケ利用状況】



【別所線最寄り駅までの移動手段】

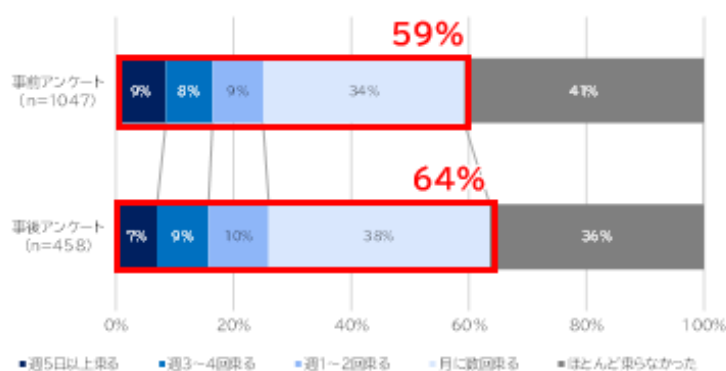


【エコチケの利用目的】

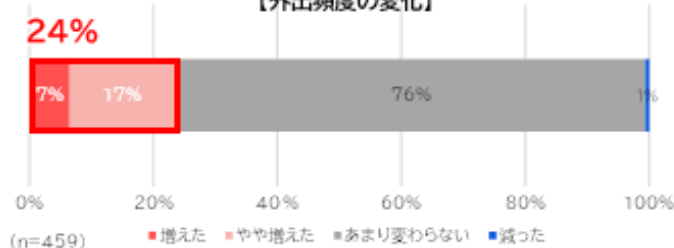


- ◇別所線の利用頻度は、事前アンケートに比べて、事後アンケートの方が、「月に数回以上乗る」が5ポイント増加。
- ◇外出頻度の変化では、「増えた」「やや増えた」の合計が24%と外出頻度が増加。
- ◇今後の別所線の利用意向では、「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が93%と、今後の利用意向が高い。

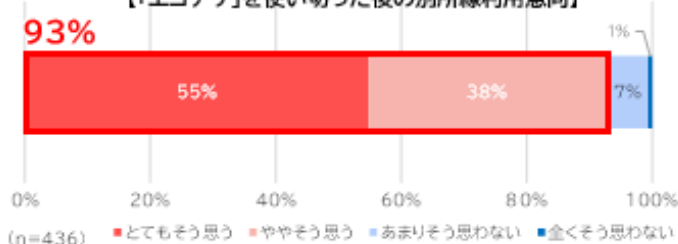
【別所線の利用頻度】



【外出頻度の変化】



【「エコチケ」を使い切った後の別所線利用意向】



<まとめ>

- ◇【事前・事後】別所線を利用している(月数回以上利用)割合が5ポイント増加。
⇒エコチケにより、別所線の非利用者の利用を促進。
- ◇【事後】エコチケを一度も利用していない方が35%。
⇒販売価格が非常に安価であり、使用期限もないため、お得感で購入したものの、実際には利用していない方もいるため、価格設定も検討が必要。
- ◇【事後】エコチケ利用時の外出目的は、「趣味・レジャー」が47%、「通勤・通学」が30%と多岐に渡る。
※本当はエコチケ非購入者との比較をしたいところ…
- ◇【事後】エコチケ購入前後で外出頻度の増加した割合が24%、より歩くようになった割合が36%、送迎回数もしくは送迎時間が減少した割合が33%。
⇒外出促進や送迎負担軽減に一定の効果がみられる。
- ◇【事後】エコチケを使い切った後も別所線を利用したいとの回答が93%。
⇒普段、別所線を利用していない方も企画により呼び込むことで、割引がない状態の利用に定着させることができる可能性が示唆される。実際に利用が定着しているか長期モニタリングが必要。

<他データとの紐づけ>

◇紐づけ可能件数(2026.2.4時点)

事前アンケート、事後アンケート、乗降データを全て紐づけできるものは226件

(事前・事後が紐づけられるが、利用が確認できない(今後紐づけられる可能性がある)のは136件)



ご清聴ありがとうございました